

産業界等と、地域産業における人材育成の核となる専門高校が、地域の魅力やニーズを捉えて意見交換等を実施し、産学連携の意義等について理解を深めるイベントです。



「北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト」

ONE-TEAMフォーラム 【道北】

日時

2025年

10月24日 **金**

11:00～15:45

参集形式

会場

北海道旭川商業高等学校

旭商会館（旭川市曙3条3丁目）

内容

◆出前授業の見学

- ・国際ビジネス科2年 科目「国際コミュニケーション(学校設定科目)」
- ・内容「観光ビジネスの実際について」
- ・授業者 株式会社星野リゾート 北海道統括総支配人 相内 学 氏

◆テーマ別協議

進行：北海道教育委員会産学連携コーディネーター 月館 海斗 ほか
【協議テーマ】

- ① 地域の“働き手不足”に学校と企業がどう応えるのか
- ② 変化する“地域産業”に対応できる人材をどう育てるのか
- ③ 産業界との協働を通して地域への愛着や誇りをどう醸成するのか

◆まとめ

申込

道教委による
旅費支給対象者



左記以外の方



締切

10月10日 **金**

詳細は実施要項を御確認ください

参加対象

- ◇上川、留萌、宗谷管内の高校で職業学科を担当する教諭等
- ◇道内企業・経済団体等の関係者（管内不問）
- ◇産業教育に関心のある教育関係者（管内不問）

「北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト」の取組はこちらのWebページから



【主催】北海道教育庁学校教育局高校教育課
【協力】北海道旭川商業高等学校、株式会社星野リゾート



産業界等と、地域産業における人材育成の核となる専門高校が、地域の魅力やニーズを捉えて意見交換等を実施し、産学連携の意義等について理解を深めるイベントです。株式会社海洋探查による講演（授業）を見学し、参加者によるテーマ別協議を行います。



北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト

ONE-TEAMフォーラム[道央]



株式会社
海洋探查
Ocean Research & Systems co.,Ltd



小樽水産高校

会場 北海道小樽水産高等学校
(小樽市若竹町9-1)

主な内容

◆講演（授業）の見学

- ・栽培漁業科2年 科目「海洋環境」
- ・内 容：「課題解決とは？」
- ・授業者：株式会社海洋探查 取締役 小笠原 誠 様

◆テーマ別協議

進行：北海道教育委員会 産学連携コーディネーター 月館 海斗 ほか
【協議テーマ】

- ① 地域の“働き手不足”に学校と企業がどう応えるのか
- ② 変化する“地域産業”に対応できる人材をどう育てるのか
- ③ 産業界との協働を通して地域への愛着や誇りをどう醸成するのか

◆まとめ

参加申込みは
こちらから▶

詳細は実施要項を参照



【道教委による旅費支給者用】



【左記以外の参加者用】

参加
対象

- ◆空知、石狩、後志管内の高校で職業学科を担当する教諭等
- ◆道内企業・経済団体等の関係者（管内不問）
- ◆産業教育に関心のある教育関係者（管内不問）

「北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト」の
取組はこちらから

【主催】北海道教育庁学校教育局高校教育課

【協力】北海道小樽水産高等学校、株式会社海洋探查



ONE-TEAMフォーラム [道東]

産業界等と専門高校が、地域の魅力やニーズを捉えて意見交換等を実施し、産学連携の意義等について理解を深めるイベントです。

2025

日時

10/31 (金)

※参集形式による開催

会場

北海道更別農業高等学校

(河西郡更別村字更別基線95)

主要内容



▼出前授業

- ・農業科2年 科目「作物」
- ・内容：「道東圏域での大規模畑作によるドローンを活用した農薬散布の実際」
- ・講師：有限会社レイブプロジェクト代表 請川 博一 様



▼テーマ別協議

進行：北海道教育委員会 産学連携コーディネーター 月館 海斗

＜協議テーマ＞

- ①地域の“働き手不足”に学校と企業がどう応えるのか
- ②変化する“地域産業”に対応できる人材をどう育てるのか
- ③産業界との協働を通して地域への愛着や誇りをどう醸成するのか

▼まとめ

北海道教育庁学校教育局高校教育課
産学連携コーディネーター 月館 海斗

参加対象者



▼オホーツク、十勝、釧路、根室管内の高校で職業学科を担当する教諭等

▼道内企業・経済団体等の関係者（管内不問）

▼産業教育に関心のある教育関係者（管内不問）

参加申込はこちら

詳細は実施要項を参照

道教委による
旅費支給者用



上記以外の
参加者用



【主催】北海道教育庁学校教育局高校教育課

【協力】北海道更別農業高等学校（道東拠点校）

有限会社レイブプロジェクト



HOKKAIDO
BOARD OF
EDUCATION

「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」 ONE-TEAM フォーラム（道北）実施要項

1 目的

産業界等と、地域産業における人材育成の核となる専門高校が、地域の魅力やニーズを捉えて意見交換等を実施し、産学連携の意義等について理解を深める。

2 主 催

北海道教育庁学校教育局高校教育課

3 協力

北海道旭川商業高等学校（道北拠点校）、株式会社星野リゾート

4 期 日

令和7年(2025年)10月24日(金)

5 会 場

北海道旭川商業高等学校（住所：旭川市曙3条3丁目）

6 参加対象者

- (1) 上川、留萌、宗谷管内の高校で職業学科を担当する教諭等
- (2) 道内企業・経済団体等の関係者（管内不問）
- (3) 産業教育に関心のある教育関係者（管内不問）

7 日程

10:30	11:00	11:10	11:35	11:45	12:35	13:35	15:30	15:40	15:45
受付	開会	説明	移動	産業界による 出前授業等	休憩	テーマ別協議 (115分) ※休憩10分を含む		まとめ	閉会

協議の 流れ説明 (5分)	役割決め 自己紹介 (10分)	テーマ別 協議 1 (20分)	テーマ横断 協議 (25分)	休憩	テーマ別 協議 2 (30分)	ギャラリー ウォーク (15分)
13:35	13:40	13:50	14:10	14:35	14:45	15:15

8 内 容

- (1) 開 会 (11:00～11:10) [会場：旭商会館]
・主催者挨拶：北海道教育庁学校教育局高校教育課課長補佐（キャリア教育指導） 石田 暁
- (2) 説 明 (11:10～11:35) [会場：旭商会館]
・内 容：出前授業の目的等について
・説明者：株式会社星野リゾート 北海道統括総支配人 相内 学 様
北海道旭川商業高等学校国際ビジネス科 水野 龍生 教諭
- (3) 出前授業 (11:45～12:35) [会場：オンライン室]
・対象学級：国際ビジネス科2年（40名）
・科 目：学校設定科目「国際コミュニケーション」
・内 容：観光ビジネスの実践について
・授 業 者：株式会社星野リゾート 北海道統括総支配人 相内 学 様
- (4) テーマ別協議 (13:35～15:30) [会場：旭商会館]
・進 行：北海道教育庁学校教育局高校教育課産学連携コーディネーター 月館 海斗 ほか
【テーマ】※詳細は「11 その他」の(4)を参照
①地域の“働き手不足”に学校と企業がどう応えるのか
②変化する“地域産業”に対応できる人材をどう育てるのか
③産業界との協働を通して地域への愛着や誇りをどう醸成するのか
(注) 上記①～③は参加申込みの段階で参加者が選択可能

(5) まとめ (15:30～15:40) [会場：旭商会館]

・ 発言者：北海道教育庁高校教育課産学連携コーディネーター 月館 海斗

(6) 閉 会 (15:40～15:45) [会場：旭商会館]

9 申込み方法

(1) 道教委による旅費支給対象者

職業学科を設置する道立高校については、全日制・定時制の課程別に、各職業学科（小学科）につき1名分の旅費を措置します。

右の二次元コードから読み込むか、次のURLにアクセスして、ウェブページ上で行ってください。ウェブページでは、Googleアカウントでのログインが必要です。また、旅行命令簿を添付するとともに、「旅費所要額」欄に旅行命令簿の金額を入力してください。

【URL】 <https://forms.gle/t7StFjKY5Zj7QQjW7>

(2) 上記(1)以外の参加者

右の二次元コードから読み込むか、次のURL にアクセスして、ウェブページ上で行ってください。

【URL】 <https://forms.gle/F2wRPACp7t7YzgC3A>



10 申込み締切

令和7年（2025年）10月10日（金）

11 その他

(1) 職業学科を設置する道立高校については、全日制・定時制の課程別に、各職業学科（小学科）につき1名分の旅費を措置します。

(2) 会場の規模の都合上、申込み締切前に受付を終了する場合があります。

(3) 開催当日に撮影した写真については、道教委のホームページに掲載することがありますので、御承知おきください。

(4) テーマ別協議について

①「地域の“働き手不足”に学校と企業がどう応えるのか」

即戦力となる生徒の育成に向けて、建設、介護、農業など、人手不足が深刻な産業を支えるために、専門高校と企業がどのように協力し、地域で活躍できる若者を育てられるかを話し合う。

②「変化する“地域産業”に対応できる人材をどう育てるのか」

デジタル化や脱炭素社会への対応など、産業構造が大きく変化する中、今後必要とされる力や学校で取り入れるべき学びについて考える。

③「産業界との協働を通して地域への愛着や誇りをどう醸成するのか」

地場産業や特産物などを生かした商品開発や、観光・イベントなど、「もの」や「こと」による地域の魅力発信を通して、地域に愛着や誇りを持ち貢献しようとする人材を育成するアイデアを考える。

「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」ONE-TEAM フォーラム（道央）実施要項

1 目 的

産業界等と、地域産業における人材育成の核となる専門高校とが、地域の魅力やニーズを捉えて意見交換等を実施し、産学連携の意義等について理解を深める。

2 主 催

北海道教育庁学校教育局高校教育課

3 協 力

北海道小樽水産高等学校（道央拠点校）、株式会社海洋探査

4 期 日

令和7年（2025年）10月28日（火）

5 会 場

北海道小樽水産高等学校（住所：小樽市若竹町9-1）

6 参加対象者

- (1) 空知、石狩、後志管内の高校で職業学科を担当する教諭等
- (2) 道内企業・経済団体等の関係者（管内不問）
- (3) 産業教育に関心のある教育関係者（管内不問）

7 日 程

10:45	11:15	11:25	11:35	11:45	12:35	13:35	15:30	15:40	15:45
受付	開会	説明	移動	(株)海洋探査 による 講演	休憩	テーマ別協議 (115分) ※休憩10分を含む	まとめ	閉会	
協議の 流れ説明 (5分)	役割決め 自己紹介 (10分)	テーマ別 協議 1 (20分)	テーマ横断 協議 (25分)	休憩	テーマ別 協議 2 (30分)	ギャラリー ウォーク (15分)			
13:35	13:40	13:50	14:10	14:35	14:45	15:15	15:30		

8 内 容 [会場：1階 多目的教室]

- (1) 開 会 (11:15～11:25)
 - ・主催者挨拶：北海道教育庁学校教育局高校教育課長 高田 安利
- (2) 説 明 (11:25～11:35)
 - ・内 容：株式会社海洋探査との連携の経緯と状況
 - ・説明者：北海道小樽水産高等学校栽培漁業科 古賀 英裕 教諭
- (3) 講 演 (11:45～12:35)
 - ・対象学級：栽培漁業科2年（33名）
 - ・科 目：「海洋環境」
 - ・内 容：「課題解決とは？」
 - ・講 演 者：株式会社海洋探査 取締役 小笠原 誠 様
- (4) テーマ別協議 (13:35～15:30)
 - ・進 行：北海道教育庁高校教育課産学連携コーディネーター 月館 海斗
 - 【テーマ】※詳細は「11 その他」の(4)を参照
 - ①地域の“働き手不足”に、学校と企業がどう応えるのか？
 - ②変化する“地域産業”に対応できる人材をどう育てるのか？
 - ③産業界との協働をとおして、地域への愛着や誇りをどう醸成するのか？(注) ①～③は参加申込みの段階で参加者が選択可能

(5) まとめ (15:30～15:40)

・ 発言者：北海道教育庁学校教育局高校教育課産学連携コーディネーター 月館 海斗

(6) 閉 会

9 申込み方法

(1) 道教委による旅費支給対象者

職業学科を設置する道立高校については、全日制・定時制の課程別に、各職業学科（小学科）につき1名分の旅費を措置します。

右の二次元コードから読み込むか、次のURL にアクセスして、ウェブページ上で行ってください。ウェブページでは、Google アカウントでのログインが必要です。

また、旅行命令簿を添付するとともに、「旅費所要額」欄に旅行命令簿の金額を入力してください。

【URL】 <https://forms.gle/4zYYqB2ZiBs4ReDz8>



(2) 上記(1)以外の参加者

右の二次元コードから読み込むか、次のURL にアクセスして、ウェブページ上で行ってください。

【URL】 <https://forms.gle/T7A56Tjvs3Nbt6NX8>



10 申込み締切

令和7年（2025年）10月17日（金）

11 その他

(1) 職業学科を設置する道立高校については、全日制・定時制の課程別に、各職業学科（小学科）につき1名分の旅費を措置します。

(2) 会場の規模の都合上、申込み締切前に受付を終了する場合があります。

(3) 開催当日に撮影した写真については、道教委のホームページに掲載することがありますので、御承知おきください。

(4) テーマ別協議について

① 地域の“働き手不足”に、学校と企業がどう応えるのか？

即戦力となる生徒の育成に向けて、建設、介護、農業など、人手不足が深刻な産業を支えるために、専門高校と企業がどのように協力し、地域で活躍できる若者を育てられるかを話し合う。

② 変化する“地域産業”に対応できる人材をどう育てるのか？

デジタル化や脱炭素社会への対応など、産業構造が大きく変化する中、今後必要とされる力や学校で取り入れるべき学びについて考える。

③ 産業界との協働をととして、地域への愛着や誇りをどう醸成するのか？

地場産業や特産物などを生かした商品開発や、観光・イベント等、「もの」や「こと」による地域の魅力発信を通して、地域に愛着や誇りを持ち貢献しようとする人材を育成するアイデアを考える。

「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」ONE-TEAM フォーラム（道東）実施要項

1 目 的

産業界等と、地域産業における人材育成の核となる専門高校が、地域の魅力やニーズを捉えて意見交換等を実施し、産学連携の意義等について理解を深める。

2 主 催

北海道教育庁学校教育局高校教育課

3 協 力

北海道更別農業高等学校（道東拠点校）、有限会社レイブプロジェクト

4 期 日

令和7年（2025年）10月31日（金）

5 会 場

北海道更別農業高等学校（住所：河西郡更別村字更別基線 95）

6 参加対象者

- (1) オホーツク、十勝、釧路、根室管内の高校で職業学科を担当する教諭等
- (2) 道内企業・経済団体等の関係者（管内不問）
- (3) 産業教育に関心のある教育関係者（管内不問）

7 日 程

10:30	11:00	11:10	11:35	11:45	12:35	13:35	15:30	15:40	15:50
受付	開会	説明	移動	(有)レイブプロジェクトによる出前授業等	休憩	テーマ別協議 (115分) ※休憩10分を含む	まとめ	閉会	
13:35	13:40	13:50	14:10	14:35	14:45	15:15	15:30		
協議の流れ説明	役割決め自己紹介 (10分)	テーマ別協議1 (20分)	テーマ横断協議 (25分)	休憩	テーマ別協議2 (30分)	ギャラリーウォーク (15分)			

8 内 容

- (1) 開 会（11:00～11:10）〔会場：体育館〕
 - ・主催者挨拶：北海道教育庁学校教育局高校教育課課長補佐（キャリア教育指導） 石田 暁
- (2) 説 明（11:10～11:35）〔会場：体育館〕
 - ・内 容：本日の出前授業の実施に至った経緯や目的等
 - ・説明者：①有限会社レイブプロジェクト代表 請川 博一 様
②北海道更別農業高等学校農業科 原 義幸 教諭
- (3) 出前授業（11:45～12:35）〔会場：学校畑作物圃場〕※雨天時：体育館
 - ・対象学級：農業科2年（14名）
 - ・科 目：「作物」
 - ・内 容：道東圏域での大規模畑作によるドローンを活用した農薬散布の実際
 - ・授 業 者：有限会社レイブプロジェクト代表 請川 博一 様

- (4) テーマ別協議 (13:35～15:30) [会場：体育館]
・ 進 行：北海道教育庁学校教育局高校教育課産学連携コーディネーター 月館 海斗
【テーマ】※詳細は「11 その他」の(4)を参照
①地域の“働き手不足”に学校と企業がどう応えるのか
②変化する“地域産業”に対応できる人材をどう育てるのか
③産業界との協働を通して地域への愛着や誇りをどう醸成するのか
(注) 上記①～③は参加申込みの段階で参加者が選択可能
- (5) まとめ (15:30～15:40) [会場：体育館]
・ 発言者：北海道教育庁学校教育局高校教育課産学連携コーディネーター 月館 海斗
- (6) 閉 会 (15:40～15:50) [会場：体育館]

9 申込み方法

- (1) 道教委による旅費支給対象者
職業学科を設置する道立高校については、全日制・定時制の課程別に、各職業学科(小学科)につき1名分の旅費を措置します。

右の二次元コードから読み込むか、次のURLにアクセスして、ウェブページ上で行ってください。ウェブページでは、Googleアカウントでのログインが必要です。また、旅行命令簿を添付するとともに、「旅費所要額」欄に旅行命令簿の金額を入力してください。

【URL】 <https://forms.gle/UEdr6ZMnya2SwhBv9>

- (2) 上記(1)以外の参加者

右の二次元コードから読み込むか、次のURLにアクセスして、ウェブページ上で行ってください。

【URL】 <https://forms.gle/woYF16VuAvY8exuU9>



10 申込み締切

令和7年(2025年)10月17日(金)

11 その他

- (1) 職業学科を設置する道立高校については、全日制・定時制の課程別に、各職業学科(小学科)につき1名分の旅費を措置します。
- (2) 会場の規模の都合上、申込み締切前に受付を終了する場合があります。
- (3) 開催当日に撮影した写真については、道教委のホームページに掲載することがありますので、御承知おきください。
- (4) テーマ別協議について
- ①「地域の“働き手不足”に学校と企業がどう応えるのか」
即戦力となる生徒の育成に向けて、建設、介護、農業など、人手不足が深刻な産業を支えるために、専門高校と企業がどのように協力し、地域で活躍できる若者を育てられるかを話し合う。
- ②「変化する“地域産業”に対応できる人材をどう育てるのか」
デジタル化や脱炭素社会への対応など、産業構造が大きく変化する中、今後必要とされる力や学校で取り入れるべき学びについて考える。
- ③「産業界との協働を通して地域への愛着や誇りをどう醸成するのか」
地場産業や特産物などを生かした商品開発や、観光・イベントなど、「もの」や「こと」による地域の魅力発信を通して、地域に愛着や誇りをもち貢献しようとする人材を育成するアイデアを考える。